

砂糖をつくる時に発生する廃棄物で ごみ焼却施設から出る排ガスをきれいにする！

石灰質未利用資源を用いた高性能排煙処理剤の開発

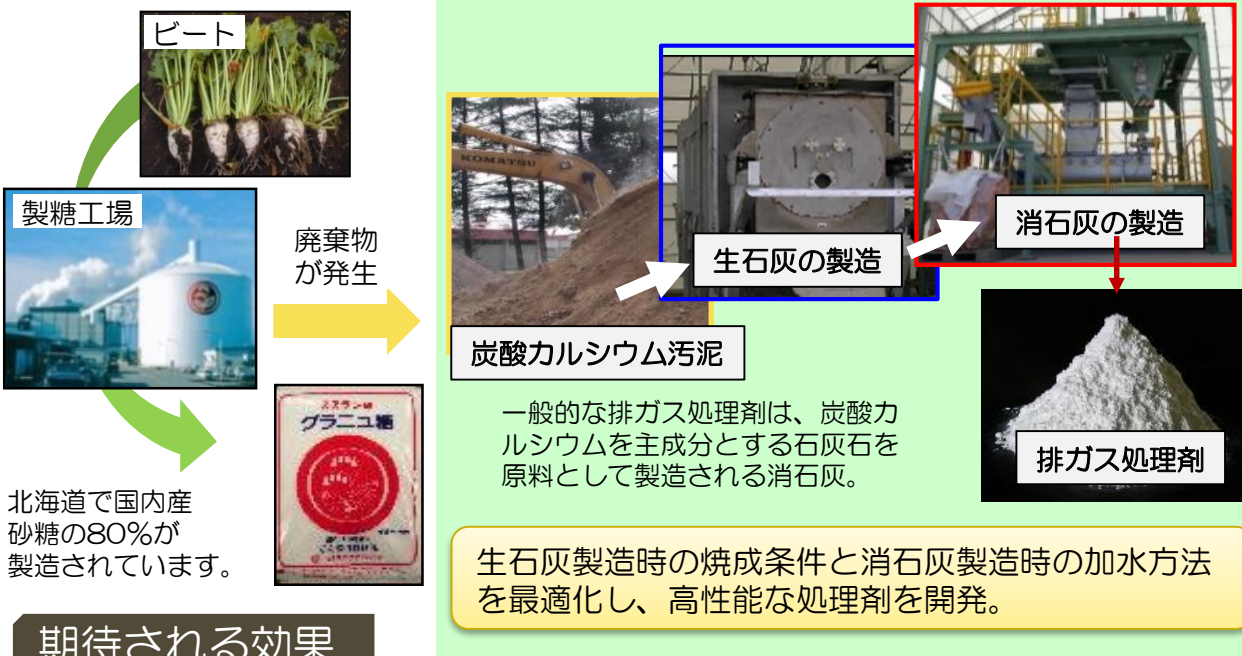
背景

- 道内で製糖廃棄物（炭酸カルシウム汚泥）は年間17万トン発生しています。土壌改良材などへの再利用も進んでいますが、1万トンが埋立処分されています。
- ごみ焼却施設では、排ガス中の有害成分を効率よく除去する高性能な排ガス処理剤の開発が期待されています。

成果

1 製糖廃棄物を原料とした排ガス処理剤の製造

2 ごみ焼却施設での試験を通じて高い性能を確認



- 北海道のごみ焼却施設で最も焼却量の多い、白石清掃工場を選定。
- 開発品を使用した焼却炉と既存製品を使用した焼却炉の2基にて性能比較評価を1ヶ月間実施。

開発品の有害成分除去性能は既存製品と比較して、約2割アップ。

期待される効果

- 大量に埋立処理されている製糖廃棄物の有効活用への貢献が期待されます。
- 開発品の普及により、ごみ焼却施設での排ガス処理剤使用量の低減が期待されます。